

大阪フィルハーモニー交響楽団 三原特別演奏会

Osaka philharmonic Orchestra

Special Concert
in MIHARA

井上道義[指揮] 大阪フィルハーモニー交響楽団

合唱:大阪フィルハーモニー交響楽団 三原特別演奏会合唱団

大木惇夫・作詞/佐藤 眞・作曲:

混声合唱とオーケストラのためのカンタータ「土の歌」より
第7楽章「大地讃頌」

アールトネン:交響曲第2番「ヒロシマ」

ブルックナー:交響曲第4番「ロマンティック」

被爆70周年～ヒロシマと音楽の軌跡～



Conductor
Michiyoshi Inoue

©Orchestra Ensemble Kanazawa



©数島隆

2015年12月6日(日) 開演16:00
(開場15:30)

三原市芸術文化センターポポロ ホール

◎チケット料金(全席指定・税込)

S席 6,500円(ポポロ会員価格 6,000円)

A席 4,500円(高校生以下 2,000円)/B席 3,000円

※会員価格でのお求めはお一人様4枚まで。※未就学児の入場は御遠慮ください。

※A・B席はポポロ、ポポロオンラインのみ。※高校生以下券はポポロのみ。

◎チケット発売日 ※電話予約は各発売日の翌日から

ポポロクラブ会員先行:7月18日(土)10:00～

一般発売:7月24日(金)10:00～

●チケット取扱い

ポポロ、ポポロオンライン、ハママツ楽器(東広島)

啓文社新浜店(尾道)、スガナミ楽器(福山)

ひろでん中国新聞旅行福山営業所、中国新聞販売所(取り寄せ)

◎お問合せ

三原市芸術文化センターポポロ

TEL.0848-81-0886 URL <http://www.mihara-popolo.com>

主催:三原市芸術文化センターポポロ 三原市文化協会

広島県文化団体連合会 中国新聞備後本社

共催:一般財団法人広島県教育職員互助組合

後援:フィンランド大使館 三原市 三原市教育委員会

◎終演後、三原駅行きの無料シャトルバスを運行します。

広島で被爆10年後に演奏された、朝比奈隆／指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団（前・関西交響楽団）によるアールトネン作曲の交響曲第2番「ヒロシマ」を60年のときを経てここに再現。また朝比奈隆にちなみ、ブルックナーを井上道義の豊かな表現力でお届けします。



©Orchestra Ensemble Kanazawa

井上道義（指揮）

桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。1971年グイド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝して以来、一躍内外の注目を集め、世界的な活躍を開始する。

1976年日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で日本デビュー。1977年から1982年までニュージーランド国立交響楽団の首席客演指揮者、1983年から1988年まで新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督を務め、1990年から1998年まで京都市交響楽団の音楽監督、常任指揮者1993年にはシカゴ交響楽団定期公演に登場、1994年10月にも再び定期演奏会に招かれた。またロイヤル・フィルも定期的に指揮している。これまでにマーラー作曲交響曲第4番、第5番、第6番の録音を実施。そのほか、ベルリン（RIAS）、ハンブルク（NDR）、シュトゥットガルト（SDR）などの各放送交響楽団、ケルン・ギェルツニッヒ管、ミュンヘン・フィル、ドレスデン・フィル、スカラ・フィル、レニングラード響、フランス国立管、フランス国立ローレル管、リール国立響、ブタベスト祝祭管、ハンガリー国立管、ルーマニア国立放送響、ポルティモア響、KBS響、台北国家響、および、ベネズエラ、オーストラリア、にも登場している。

また、オペラの世界では、Bunkamuraの《トゥーランドット》、スコットランド・エディンバラ国際フェスティバル、マルセイユ歌劇場にて《蝶々夫人》、《ナクソス島のアリアドネ》、新国立劇場の《ラ・ボエーム》、《運命の力》を客演。2000年9月より3シーズンにわたって新日本フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者として、《道化師》、《カヴァレリア・ルスティカーナ》、《死の都》、《ナクソス島のアリアドネ》という意欲的な演目を取り上げ、自ら演出も担当しセンセーショナルな成功を収めている。

2013年にはサントペテルブルク交響楽団と日本国内ツアーを実施し大きな成功を収めた。

1990年「国際音楽賞・クリスタル賞」、1991年「第9回中島健蔵音楽賞」、1998年「フランス政府芸術文芸勲章（シュヴァリエ賞）」。

2007年1月よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティスティック・アドバイザーに就任。2014年4月、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に就任。自宅にアヒルを飼っている。



©広島県

大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1950年社団法人化、1960年に改組、2012年4月から「公益社団法人大阪フィルハーモニー協会」となる。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務め、2003年に大植英次が第2代音楽監督に就任、2012年4月より桂冠指揮者となる。2014年4月より井上道義を首席指揮者に迎え、「定期演奏会」（年10回、毎回2公演開催）をフェスティバルホールに移して開催。そのほか、平日昼の演奏会「マチネ・シンフォニー」、大阪・御堂筋や中之島を中心とした音楽イベント「大阪クラシック」など幅広い活動を行なっている。また大阪以外の全国各地でも文化振興に貢献しており、数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行においても絶賛を博した。

大阪フィルハーモニー交響楽団

三原特別演奏会合唱団

今回の演奏会のために広く一般から募集し、特別に編成された混声合唱団

合唱指導：松尾寿人（混声合唱団指揮者／合唱人集団「音楽樹」会員）



Erkki Aaltonen

ヒロシマと音楽 ～アールトネン交響曲第2番「HIROSHIMA」～

被爆70周年となる2015年に、被爆10周年の節目に計画された音楽会を振り返りたい。

1955年（昭和30年）8月15日、開館して間もない広島市公会堂にて、日本を代表する指揮者、朝比奈隆（1908-2001）が関西交響楽団（現大阪フィルハーモニー交響楽団）とともに来広し、フィンランドの作曲家、エルッキ・アールトネン（1910-90）が作曲した《交響曲第二番「ヒロシマ」》（1949）の日本初演を行った。この作品は、被爆から僅か4年後の1949年（昭和24年）に作曲され、同年ヘルシンキで世界初演された作品で、「ヒロシマ」をテーマとする現存の器楽作品の中では世界最初のものともみられている。被爆10周年の記念事業として5千人もの広島市民が公演に無料招待されたが、被爆の惨状と復興へと立ち向かう広島の様子を描いたその音楽に、多くの被爆者が涙を流したと当時の記事は伝えている。

行方が分からなくなっていた交響曲第2番「ヒロシマ」の総譜が数年前に大フィルのライブラリーより発見され、今回の演奏となった。

「ヒロシマと音楽」委員会委員長
能登原由美

■アールトネン／朝比奈隆 企画展「復興と音楽と人々

—ヘルシンキ・大阪・広島—

期間：2015年11月21日（土）～12月6日（日）

時間：9:00～17:30

場所：ポポロ ホワイエ

■プレクチャー開催

第35回広島県文化団体連合会文化講演会

「ヒロシマと音楽」

～ヒロシマを表した多くの作曲家たち～

日時：2015年11月22日（日）14:00～16:00

会場：三原市芸術文化センターポポロ
リハーサル室

入場料：無料（要入場整理券）

発売日よりポポロ事務所で配布

講師：能登原由美（「ヒロシマと音楽」委員会委員長）

●チケット取扱いについて

【ポポロ】

◎電話予約は発売日翌日より承ります。（引取方法はご予約時にご確認ください）◎車椅子席をご希望の方はお電話でお問合せご予約ください。

【ポポロオンライン】

◎ご利用いただく際には事前に会員登録が必要です。◎パソコン・携帯からご予約、セブンイレブンでのお支払い・お取り。

●お問合せ：三原市芸術文化センターポポロ 〒723-0051 広島県三原市宮浦2-1-1 <http://www.mihara-popolo.com>

●アクセス

◎三原駅より④番バス乗場「田野浦線」で約5分。「芸術文化センターポポロ・医師会病院入口」下車すぐ。

◎山陽自動車道・本郷ICより約30分。福山西ICより約30分。

※公演当日はホール北側の宮浦公園多目的広場に臨時駐車場（無料）を設けます。（駐車可能時間14:00～19:00）その他、ホール併設のポポロ駐車場・ホール西側の宮浦駐車場をご利用ください。（最初の1時間は無料、以降30分毎50円）※駐車台数には限りがございますので、予めご了承ください。

◎終演後、三原駅行きの無料シャトルバスを運行します。



三原 ポポロ 🔍 検索